

ふくいから 未来へ **幸** ・ 発信 。



吉岡幸株式会社

対象期間：令和5年1月21日～令和6年1月20日

発行日：令和6年7月3日

～地域、産業、そしてそこに集う人々の幸せこそが商いの原点～

吉岡幸は、大正8年の創業以来、「地域、産業、そしてそこに集う人々の幸せこそが商いの原点である」との企業理念のもと、『建設・産業資材のトータルサプライヤー』として鋼材・機材・管材といった商品の流通を担ってまいりました。

私たちは**エコアクション21**環境経営に取り組んでいます。

吉岡幸株式会社 環境方針

【環境幸動宣言】

吉岡幸は、建設・産業資材のトータルサプライヤーとして、様々な企業幸動が環境を配慮し、地球環境維持と継続的改善につながるよう、法令を遵守し全社員が環境経営に取り組みます。

【環境幸動方針】

1. 職場における環境幸動

節電、節水、エコ運転 及び裏紙利用やゴミ分別によるリサイクルをはじめとする環境幸動を徹底し省資源と環境汚染の予防に努める。

2. グリーン購入による環境幸動

社内で利用・消費する物品については、環境に配慮した製品を優先的に購入する。

3. 営業活動における環境幸動

環境負荷を低減する「環境優良商品」の普及に努め、まちづくり(建設業)・ものづくり(製造業)現場の環境改善に貢献する。

4. 環境教育幸動

この環境幸動方針を全ての社員に周知徹底し、率先して幸動できるよう環境教育を実施する。

平成20年4月1日

吉岡幸株式会社

代表取締役社長 吉岡





会社名

吉岡幸株式会社
代表取締役会長 兼 CEO
吉岡 正盛



建設・産業資材のトータルサプライヤー

吉岡幸株式会社

創業

大正8年5月

設立

昭和25年1月

資本金

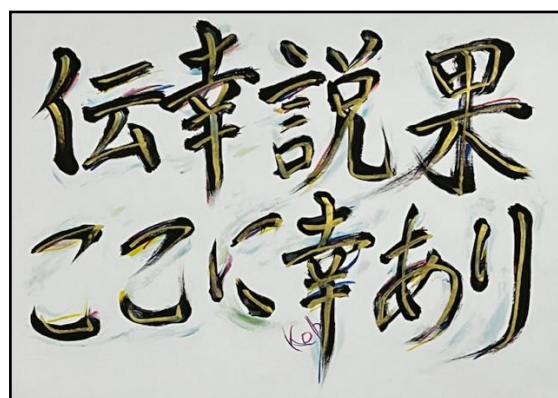
4,850万円

社員数

207名(令和6年5月16日)

売上高

206億8千万円(令和6年1月期)



対象事業所

本社	福井県福井市宝永3丁目22-5	41名	324㎡
鯖江支店	福井県鯖江市御幸1丁目2-10	39名	4,181㎡
敦賀支店	福井県敦賀市筋生野74	15名	2,144㎡
石川支店	石川県能美市山口町力56	17名	2,160㎡
鋼材センター	福井県福井市石盛町101	24名	6,550㎡
管材センター	福井県福井市二の宮1-14-27	30名	4,639㎡
機工センター	福井県福井市二の宮1-12-17	36名	2,170㎡
テクノセンター	福井県福井市二の宮1-12-7	0名	836㎡
富山営業所	富山県富山市問屋町2-10-36	5名	540㎡

事業活動

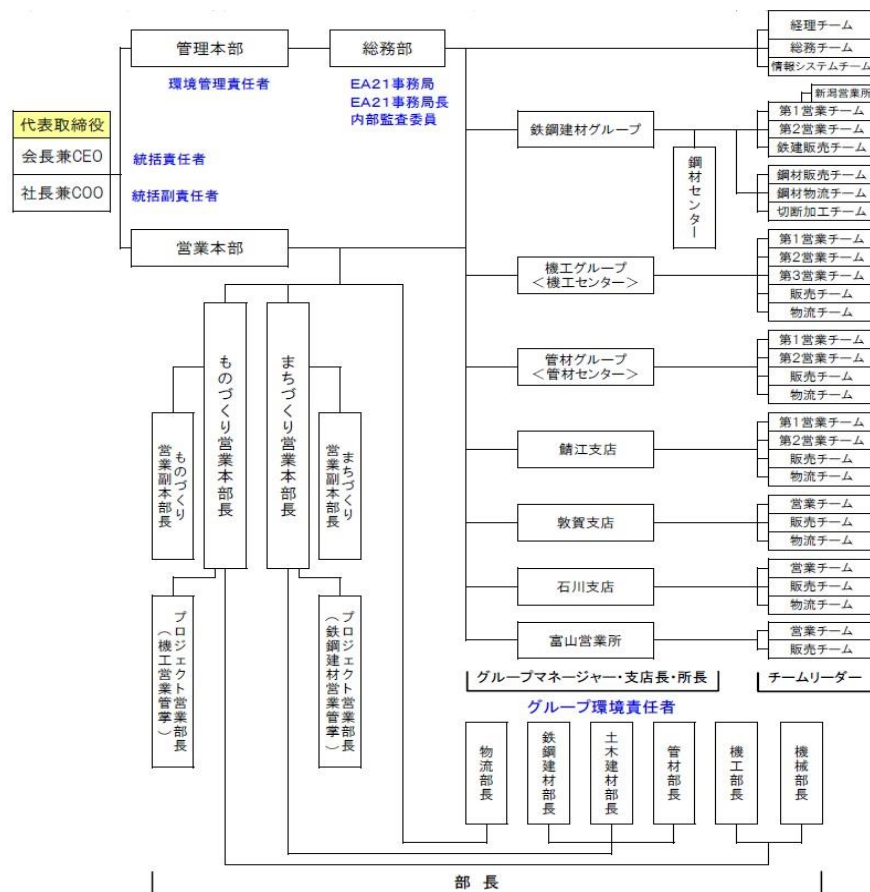
鋼材、非鉄金属、工作機械、鍛圧機械、伝導用品、工具、
土木・配管・建築資材、住宅設備機器等の卸販売

環境管理責任者 管理本部長 田中 伸和

EA21 事務局 総務部 吉田 享平

TEL:0776-22-2211 FAX:0776-21-4515 E-mail:yoshiokakoh@yoshiokakoh.co.jp

認証・登録の範囲:全組織・全活動



【役割】

会長兼CEO(統括責任者)	環境方針の制定及び見直し、次年度及び中期目標の作成
統括責任者	環境マネジメントシステムの承認、必要な経営資源の準備、実行組織の承認
統括副責任者	統括責任者の補佐
環境管理責任者	環境マネジメントシステムの構築・維持・管理
	目標の各部展開と実行及び更新
幹部会	環境活動レポートの作成及び公表、環境教育の計画・実施
EA21事務局長	環境マネジメントシステムの進捗状況の監理
内部監査員	環境管理責任者の事務的サポート、各グループ情報管理・報告
各グループ環境責任者	内部監査の実施
	環境牽動方針の社員への周知
各グループ担当	グループの環境目標・実行計画の作成・実行
アシスタント	グループにおける環境記録の管理
	グループにおける環境記録の事務作業・事務局への報告

エコアクション21組織図



～取扱商品～

S T E E L

鋼材・非鉄金属材・建築資材

M A C H I N E

工作機械・鍛圧板金機械・工具・産業機器・伝導用品・環境機器

HOUSING PART

住宅設備機器・配管機材・自動制御機器・OA 機器他



	2022年度 (実績値)	2023年度 (目標値)	2023年度 (実績値)	目標比
				実績増減率
				原単位増減率
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	806,604.29	790,472.2	786,402.51	-0.5148%
原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	32.56	34.22	38.03	+11.134%
CO ₂ 排出量(電気のみ) (kg-CO ₂)	199,236.48	195,251.75	193,771.68	-0.758%
電気 (kWh)	415,076	406,774.48	388,320	-4.537%
原単位 (kWh/百万円)	16.76	17.61	18.78	+6.64%
都市ガス (m ³)	63.0	61.74	15.00	-75.7%
原単位 (m ³ /百万円)	0.0025	0.0027	0.00073	-72.96%
プロパンガス (m ³)	131.1	128.48	116.74	-9.14%
原単位 (m ³ /百万円)	0.0053	0.0056	0.0056	±0%
灯油 (L)	2,813.58	2,757.31	3,370	+22.22%
原単位 (L/百万円)	0.11	0.119	0.163	+36.97%
ガソリン (L)	98,229.85	96,265.25	96,143.48	-0.126%
原単位 (L/百万円)	3.97	4.17	4.65	+11.5%
軽油 (L)	143,999.43	141,119.44	139,701.28	-1.005%
原単位 (L/百万円)	5.81	6.11	6.76	+10.6%
水道 (m ³)	1,753	1,717.94	1,974	+14.9%
原単位 (m ³ /百万円)	0.071	0.074	0.095	+28.4%
一般廃棄物 (kg)	4,037.3	3,956.55	4,296	+8.6%
原単位 (kg/百万円)	0.16	0.17	0.21	+23.5%
産業廃棄物 (kg)	20,130	19,727.4	7360	-62.7%
原単位 (kg/百万円)	0.813	0.854	0.356	-58.3%
売上高 (円)	2022 年度	2023年度	2023 年度	前年比
	247億7千万	231億	206億8千万	40億9千万減 (-16. 5%)

注) 2022 年度北陸電力基礎排出係数 0. 499 kg-CO₂/kWh

* 原単位：環境負荷／2023 年度売上高



2023 年度 環境目標・実績及び評価

	目標	結果	評価
二酸化炭素 排出量	2022 年度比 2%削減 790,472.2kg 以下 原単位 34.22	-0.5148%	○
		+11.134%	△
水使用量	2022 年度比 2%削減 1,717.94 m ³ 以下 原単位 0.074	+14.9%	△
		+28.4%	×
一般廃棄物 排出量	2022 年度比 2%削減 3,956.55kg 以下 原単位 0.17	+8.6%	△
		+23.5%	×
グリーン 購入	グリーン購入事務用品 30%以上	グリーン購入件数比率 32.4 %	○
環境 PR活動	環境優良商品を紹介する 展示会の継続実施	ゴールデンフェア動員 10,608 名 (p.10,11) オータムフェア動員 540 名 (p12)	○

注) 2022 年度北陸電力の電気事業者調整後基礎排出係数 0.499 kg-CO₂/kWh

二酸化炭素排出量、水使用量、一般廃棄物排出量は原単位にて評価する。

原単位は 2023 年度売上高を基準として計算。

【評価基準】

- : 目標達成
- △ : 目標より 0～15%未満
- × : 目標より 15%以上



具体的な取り組み

1. 二酸化炭素排出量

各実施事項の末尾に記載の(○、△、×)は、実施状況の年間評価です。

評価基準は、以下の通りとします。

○:実施した・効果あり、△:実施した・効果なし、×:実施せず

・目標達成のための実施事項は、以下に記載の、節電、エコドライブ、燃料節減(灯油・都市ガス・プロパンガス)の各実施事項による。

1.-1) 節 電

- ・昼休みは、不必要箇所の照明を消す。(店頭は除く)——評価:○
- ・外出する場合など長時間席を離れる場合はモニター及びコンピューターの電源を落とす。(伝票出力用の端末を除く)——評価:○
- ・閉店後(残業時)は使用箇所の空調、照明以外消灯する。(当番確認)——評価:○
- ・退社時はコンピューター、プリンター、コピー機の電源を落とす。——評価:○
- ・情報システムチームは24時間稼働必要なサーバー・端末にテプラで明記し、節電行動によるトラブルが発生しないよう管理する。——評価:○
- ・トイレの照明、換気扇は使用時以外消しておく。——評価:△
- ・出社時の空調設備は一度に全て入れない。——評価:○
- ・空調設備は各事業所の環境に合わせ設定温度を定め管理する。——評価:○
- ・一時的にでも過剰な温度設定は空調設備・電気設備に負荷を与えるだけで効果が低いので行わない。——評価:○
- ・可能な限り、入荷日・入荷時間を調整し荷受け作業による時間外労働を削減する。——評価:○
- ・クールビズ・ウォームビズなど季節・環境に対応し、適切で安全な服装をする。——評価:○
- ・電気またはガスを使用し、お湯を沸かす際は適量に努める。——評価:○
- ・倉庫で使用している高天井用照明を水銀灯から LED 照明へ切り換える。——評価:○

実施事項については、全項目について概ね実施出来たと評価しているが、トイレの便座が開けっぱなしになっていたり、夏の時期に高温設定になっていたり、個人ではなく全員で使用している部分での節電が疎かになっていると感じる。使用する頻度が高いので、一人ひとりが意識するように心掛ける。

1.-2) エコドライブ(ガソリン・軽油)

- ・交通規則を守り、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど「急」のつく運転を行わない。——評価:○
- ・車両管理者は、空気圧等始業前点検を行う。——評価:○

- ・アイドリングストップに努める。――評価：○
- ・車両を離れる際は、キーを抜き施錠する。――評価：○
- ・出入り業者等にも敷地内でのアイドリングストップを要請する。――評価：○

実施事項については、全項目について実施出来た評価している。新型コロナが落ち着き車での移動が増え、車の台数も増加しているが、燃費の良い車や電気自動車の導入で、以前と同じ使用量を維持している。

1-3) 燃料節減(灯油・都市ガス・プロパンガス)

- ・クールビズ・ウォームビズなど季節・環境に対応し、適切で安全な服装をする。――評価：○
- ・電気またはガスを使用し、お湯を沸かす際は適量に努める。――評価：○
- ・就業時間内の業務集中に努め、ノー残業日を設定する。――評価：○

ガスの使用量は年々減少している。灯油に関しては積雪(寒さ)の関係で使用量が増減するのでなかなか対応が難しいが、服装や使用場所を制限、時間外労働を減らし少しでも使用量を減らすように努める。

2. 水使用量(節水)

- ・散水時、清掃時また台所、トイレでの水道使用時は節水に努め、蛇口の閉め忘れが無いかな必ず確認する。――評価：○

使用量の掲示によって、節水に対しての意識向上に努める。

3. 廃棄物等排出量

- ・価格表、見積書、納品書、請求書及び個人情報・社内機密事項の記載された書類は裏紙として使用しない。この場合、破ったりまるめたりせず記載箇所又は全てを必ずシュレッダーにかける。――評価：○
- ・ゴミの排出量を削減するため分別を行い、リサイクル率を高めるよう努める。――評価：○
- ・段ボール紙、新聞紙、雑誌、カタログは出来る限り金具等を外し、再資源化する。――評価：○

裏紙の使用や廃棄物の仕分けなど、ゴミが発生した後の取り組みは意識して実施されるようになったが、印刷のサイズ・印刷の枚数・印刷の向き・印刷するプリンター・印刷したいページなど、印刷前での間違いで多くの紙を無駄にすることがあるので、今一度印刷前の確認を徹底するよう努める。

4. 環境PR活動(循環型社会へのPR活動)

- ・物品購入には、積極的に環境優良商品を購入する。(グリーン購入)――評価：○
- ・環境優良商品を優先的に宣伝・販売する。――評価：○
- ・環境優良商品の社内・社外講習会に参加する。――評価：○
- ・納入業者・仕入先に、環境優良商品の紹介を要請する。――評価：○

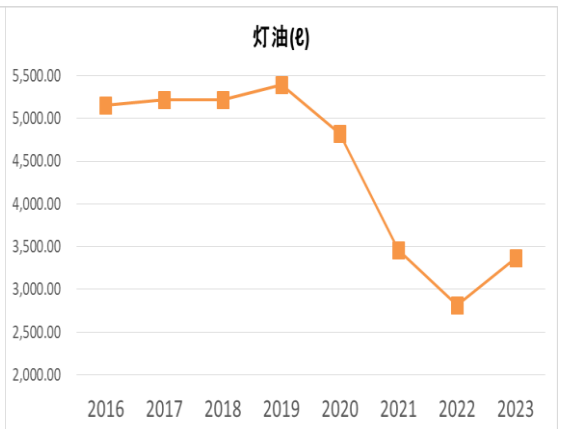
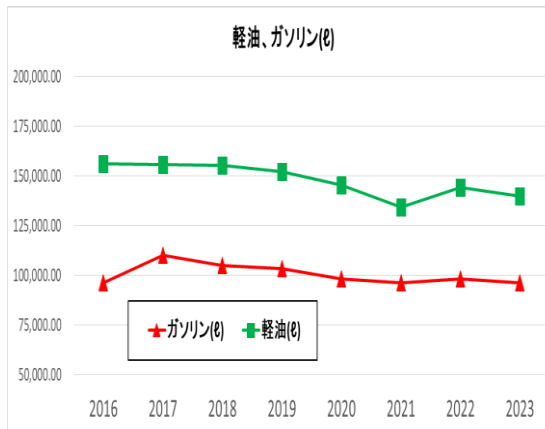
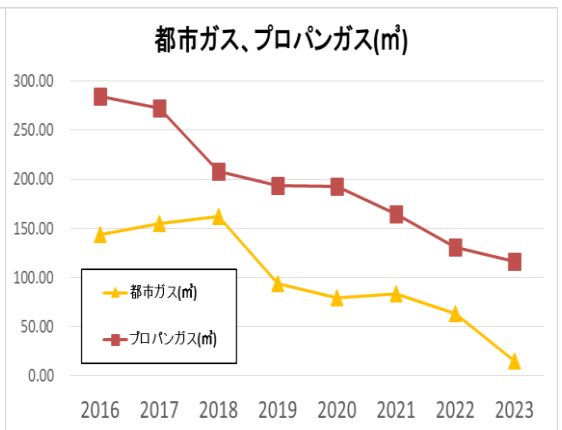
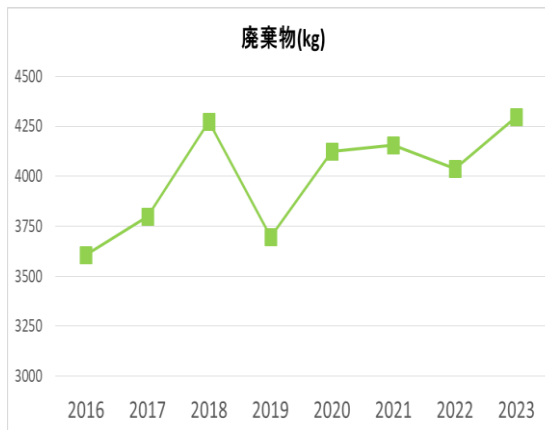
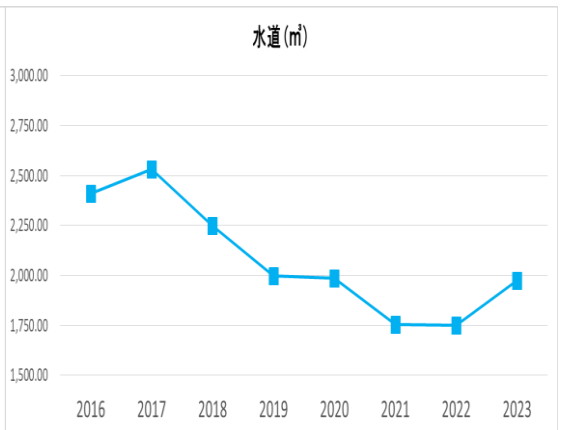
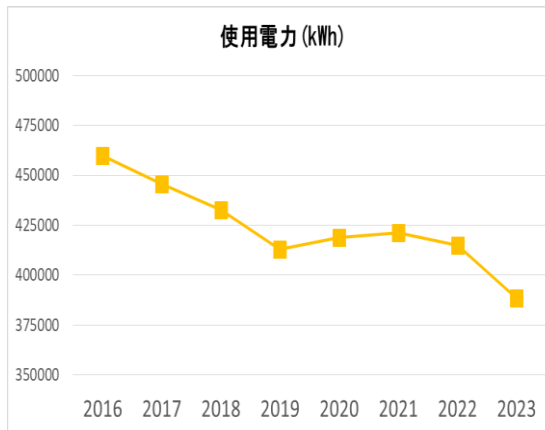
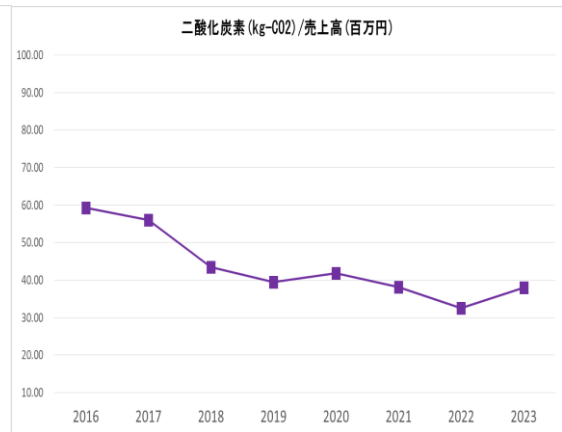
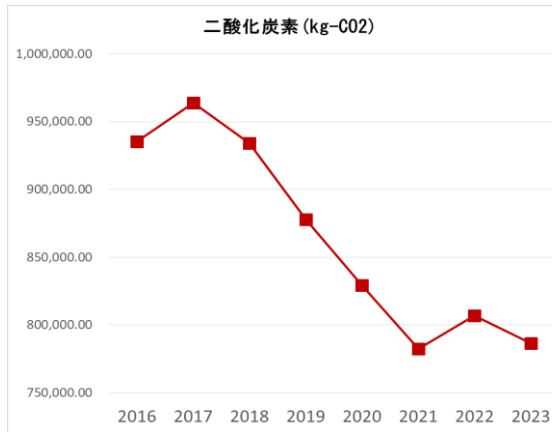
- ・納入業者・仕入先に、梱包材の簡素化又はリサイクル可能なものの納品を要請する。
-----評価：○
- ・入荷品に入ってくる梱包材は出荷時の梱包材として再利用する。その際、送り状等の除去、仕入先からの納品書・請求書が入る事無いよう注意する。-----評価：○
- ・使用済み封筒は、社内連絡用や商品の梱包用として再利用する。この際、元の宛名を消し誤配の発生しないよう注意する。-----評価：○
- ・必要以上と思われる量の残っているカタログは返却等整理し、次回受入数の参考にする。
- ・定期配布カタログは早期に配り終える。-----評価：○
- ・仕入先・メーカーに協力を要請し大型総合カタログ等の最新版発刊の際はお客様から旧版の回収を行う。-----評価：○

環境優良商品をフェアや営業でお客様に PR するだけでなく、社内で使用している環境優良商品の掲示などを行い、社員一人ひとりの環境優良商品に対しての意識向上に努める。

5.その他活動（紙使用量削減、化学物質管理）

- ・社内の連絡・通達事項は、サイボウズ（社内掲示板）、DocuWorks（ペーパーレスファックス）を利用し紙媒体、FAXによる回覧・連絡は必要最小限にとどめる。-----評価：○
- ・小切手・手形の発行・集金等を、振込や電子記録債権（でんさい）に切り替えて削減し、効率化を図った。-----評価：○
- ・リモート会議システム（ZOOM）を利用し、会議のスムーズな進行が可能となったとともに、他部署から本社への移動、会議の遅延といった無駄を省いた。-----評価：×
- ・取扱っている化学製品の SDS を事業所内に設置する。-----評価：○
- ・SDS より含有する化学物質を把握し、年度末に在庫として購入した化学製品の数量を集計後、PRTR 法に該当する物質の在庫量を把握した。-----評価：○

新型コロナが落ち着き 2 類から 5 類に引き下げられたことによって、リモートでの会議がほぼなくなり、コロナ渦以前の対面での会議が増えた。しかし、コロナ渦を経験したことにより、予定時間を過ぎての会議が減り、データでの資料配布や発表が増え紙使用量が減少した。



-サステナ！2023-

2021年から福井新聞紙面を使った地域社会への持続可能な社会づくりを訴求した取り組みで、弊社も毎月の社内外の清掃時に、養浩館庭園周辺の清掃活動をするなど、微力ながら持続可能な地域社会に取り組んでいます。



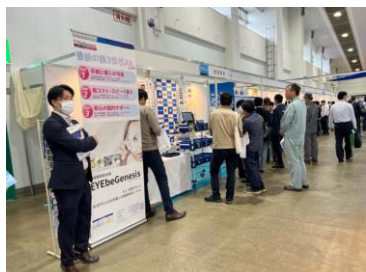
-10月26日 オータムフェア開催-

6月に開催したゴールデンフェアに続くアフターゴールデンフェアという位置付けで、43社のメーカーにご協力いただいて開催させていただきました。



ーテクノフェア 2023ー

福井県産業会館でテクノフェアが開催されました。コロナ禍が終焉したこともあり、多くの人々が来場していました、弊社は電子黒板、AIを使った識別システム、ピッキングガイド付きの在庫管理システムを展示しました。



ー健康経営優良法人 2023 認定ー

従業員一人ひとりとその家族の心身の健康保持・増進に取り組んでおり、今年度も日本健康会議(*1)から健康経営優良法人 2023 に認定登録されました。



*1 少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体

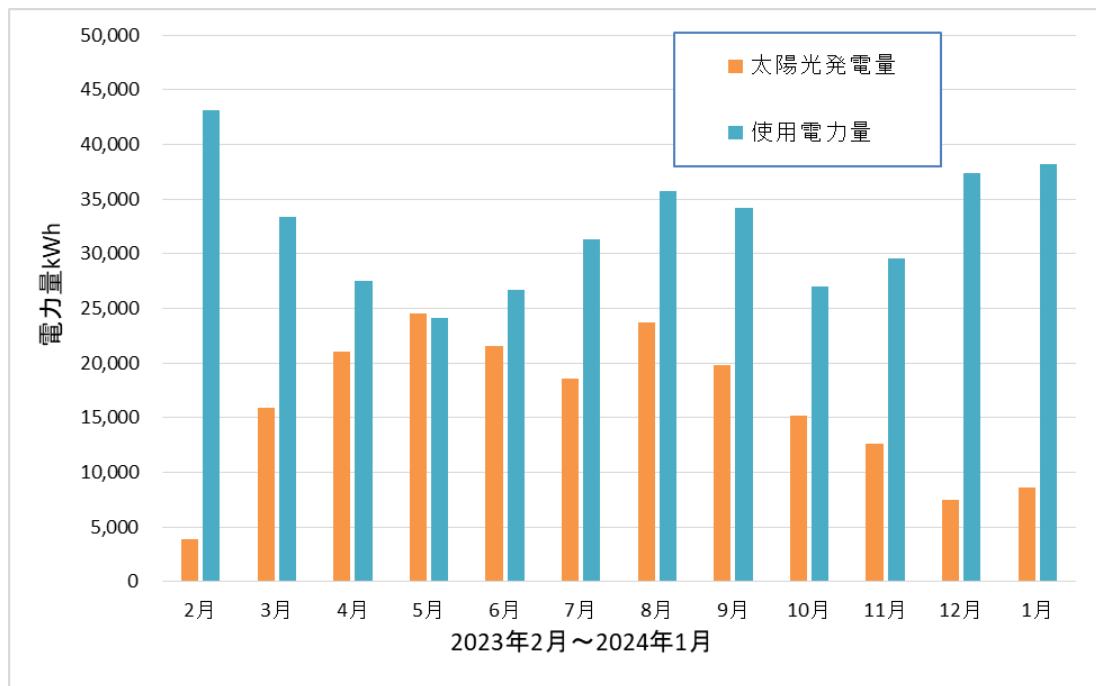
ーふくい水素エネルギー協議会ー

2021年5月に福井県内に次世代エネルギーである水素の利用促進と関連産業の創出を目的として発足した一般社団法人「ふくい水素エネルギー協議会」に吉岡幸も理事として就任しました。今後は水素エネルギーを通じて、産業振興と地域活性化に貢献し、地域循環型の地産地消エネルギーシステム及び社会システムを普及・浸透させ、持続可能かつ快適で豊かな環境及び生活の実現に向けて活動していきます。

- [illegible]

太陽光発電 2023 年度実績

石盛ベースの鋼材センター(2013 年)、二の宮ベースの管材センター(2014 年)、機工センター(2016 年)で発電した電力の売電を継続しています。今年度は3か所にて合計 190,677 kWh 発電しました。全社の使用電力量 388,320kWh の約 49%を発電できました。



【管材センター】



【鋼材センター】

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

従来から、大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音等について、違反はなく、周辺地域その他からの苦情、関係機関等からの指摘、及び訴訟等ありません。

主な法規名称	要求事項	遵守状況
環境基本法	事業活動による公害防止・環境負荷低減・国又は地方公共団体の環境保全施策に対する協力	遵守
悪臭防止法	規制地域内の規制基準遵守	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理 保管基準・委託基準の遵守	遵守
特定家庭用機器再商品化法	特定家庭用機器廃棄の適正処理	遵守
浄化槽法	保守点検及び清掃の義務	遵守
下水道法	行為の制限等	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検・定期点検の実施、充填・廃棄等業務の法定業者への委託、必要書類の保存	遵守
PRTR法	該当する化学物質の管理(適正な取扱い、取扱量把握)	遵守





2023 年度以降の環境系目標

		基準値	目 標			
		2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	
二酸化炭素 排出量	kg-CO ₂	786,403	770,675	755,262	740,157	
	kg-CO ₂ /百万円	38.03	37.27	36.52	35.79	
水使用量	m ³	1,974	1,935	1,896	1,858	
	m ³ /百万円	0.095	0.093	0.091	0.089	
一般廃棄物 排出量	kg	4,296	4,210	4,126	4,043	
	kg /百万円	0.21	0.206	0.202	0.198	
グリーン購入	%	32.4	30 以上	30 以上	30 以上	
環境PR活動	環境優良商品を紹介する展示会・セミナー講習会を開催する					
化学物質管理	PRTR 法に該当する物質の年度末在庫量を把握する					

1. 二酸化炭素排出量は毎年基準値から 2%ずつ排出量を削減する原単位目標とし、排出量は売上高が基準年と同一の場合の排出量とする。
2. 水使用量は毎年基準値から 2%ずつ使用量を削減する原単位目標とし、使用量は売上高が基準年と同一の場合の使用量とする。
3. 一般廃棄物排出量は毎年基準値から 2%ずつ排出量を削減する原単位目標とし、排出量は売上高が基準年と同一の場合の排出量とする。産業廃棄物は排出量を把握する。
4. グリーン購入は事務用品の購入件数の比率とする。
5. 原単位目標は 2023 年度売上高を基準とする



全体の取組状況の評価及び見直し記録

2024年3月1日

代表者	環境管理責任者
吉岡	田中伸

①環境管理責任者は以下のことを確認し、必要な処置を取ります。

		問題点	対策・改善内容
環境目標・環境活動計画が予定通りか	適	何より価格を優先するユーザーが一定数いる。	展示会、講習会でのユーザーへの啓発や、社員自身が知識を得て、こちらから環境商品の提案をするなど、両方の意識改革を行うよう努める。
法律を守っているか	適	遵守している。	
前回の全体評価により行われた改善の効果	有	緊急事態訓練および内部監査の定期実施化。	各事業所それぞれの消防訓練および内部監査の定期的の実施するようにした。
取組活動が、事業所にとって有意義かどうか	有	意識付けには成功したと思うが、自発的に行動するまでには至っていない。	更なる削減を目指すために、口頭での呼びかけだけではなく、掲示物などを利用して、視覚から紙、ゴミ、電気、水道水の削減に意識が向くように訴えかけるようにしていく。

②代表者は、①の結果より以下のことを行います。

	必要性	変更の内容
環境方針の内容変更	有 ☒ 無	特にありません。
環境目標、環境活動計画の内容変更	有 ☒ 無	変更はありませんが、現状の数値を維持・向上すると同時に、展示会や講習会の開催により、営業における環境活動の更なる強化に努める。
その他、環境経営システムの内容変更	有 ☒ 無	変更はありませんが、インボイス制度等の電子化の流れにのって、より一層のペーパーレス化に努める。

総 括

令和5年度を振り返るとやはり何といても2023 ゴールデンフェアを語らずにはいられません。6月3～5日、福井県産業会館において出品メーカー数235社、お客様の動員数約1万人という福井県内では最大規模の産業・機械工業の見本市です。この展示会では工作機械や産業機械、作業工具、管工機材、住宅設備機器などの商品を展示して商談をするというものです。新型コロナが2類から5類に移行し、社会が普通の空間を取り戻してきた状況下での展示会でした。出品メーカー様より環境対応型の商品や自動化あるいは時間短縮などを提案する新しい工法、新しい商品が数多く展示されました。そういう意味では環境意識を訴求する展示会になったと確信しております。

今、世界は極端な温暖化の危機にさらされています。2024年の春(3～5月)、世界の平均気温が統計を取り始めてから過去最高を更新したそうです。私たちが継続的に社会生活を営み経済活動をするためには、これ以上の温暖化を食い止めなければなりません。その小さな一歩がEA21という職場における環境幸動ではないでしょうか。日々の節水、節電、エコ運転やゴミの分別仕分けといったストイックな取り組みから、前述のゴールデンフェア等を活用した環境優良商品の販売など、より積極的な環境幸動まで広範囲に取り組んでいます。

ただ地球環境問題においては前述の地球温暖化による豪雨災害をはじめ夏場の猛暑など待ったなしで取り組む課題が数多く存在しています。私たちの環境経営の地道な取り組みも意義深いものであると感じております。令和5年度経営指針「**伝幸説果、ここに幸あり**」正しく理解し素早い幸動が温暖化を食い止め持続可能な社会づくりに繋がるものと確信しています。平成17年に開始したEA21の活動も19年が経過しました。その間、コンサルタントの先生方に多くのご指導をいただき、自然に環境幸動ができるように成長してきたと自負しております。さらなる困難が待ち受ける地球環境を守るために、引き続きこの環境経営を地に足をつけて全社員で取り組むことを誓い、総括とさせていただきます。

令和6年 7月

吉岡幸株式会社
代表取締役会長兼 CEO 吉岡正盛